

岐阜県の プラスチック

新年互礼会に組合員・賛助会員らが参加、交流と親睦を図る
「総合収益改善活動への挑戦」をテーマに講演会を開催
平成10年のプラスチック生産出荷額は3,222億円
——平成4年の生産ピークへあと一息に迫る——
互礼会に技能検定合格者35人を招いて証書を伝達し激励
事務局だより

来賓、賛助会員、技能検定合格者らを招いて開いた新年互礼会



ミレニアムの“新年互礼会”開く

結束して新世紀を迎える年に 賛助会員を招いて交流と懇親

工業組合は1月29日午後、岐阜グランドホテルのロイヤルホールで『新年互礼会』を開催した。席上、来賓や賛助会員を代表して3氏から「迎える新世紀には、さらなる飛躍を期待する」などと激励を受けたり、松久庸安・松久経営&技術相談所長の講演（要旨は4～5頁に）を聞くなど、一同は和やかに交流し懇親を深めた。

続いて恒例になった『技能検定合格証書伝達式』を行い、平成11年度前期の「射出成形作業」で合格した28人に証書を伝達、また、平成10年度後期の「成形用金型」と「ブロー成形」で合格した7人を披露、合格者の前途を祝った。（合格した35人は9頁に紹介）

百人が一堂に参加 3氏が激励の言葉

ミレニアムの新年互礼会に参加した組合員は60人、これに来賓、賛助会員、さらには技能検定合格者が加わる総勢100人が一堂に集まって賑やかに開いた。

互礼会は兎玉俊一副理事長の「厳しい経済情勢がいぜん続く中ではあるが、大きな希望を抱いて2000年を生き抜きたい」とする開会の言葉に続いて、大松利幸理事長のあいさつで始まった。

この後、来賓を代表して新家武彦県商工局長（代理）と辻正県中小企業団体中央会長、さらに賛助会員を代表して南村正昭日精樹脂工業名古屋営業所長から祝辞があった。



上は、新年互礼会であいさつする大松理事長。下は、参加者全員がそろい坂口忠幸岐阜県製品技術研究所長の音頭で乾杯

「厳しい構えで対応を」

「大松利幸理事長の新年ごあいさつ」

新年を迎え話題の一番は、やはりインターネットやeコマースのこと。新聞、テレビ、雑誌でもネットビジネスを大きく取り上げ、はなばなしい成長ぶりを伝えています。ものづくりの会社は、この動きをどのようにキャッチアップし、企業の発展に結び付けていけばよいのか、判断つかない現状です。

今日の経済環境の変化は、アメリカの経営方式というか、経済システムに日本が組み込まれていく感じがしてなりません。会計基準は変わり、ISOをはじめとする規格基準が相次ぎ導入され、加えて取引慣行までもアメリカ方式の現金取引が盛んになりつつあります。

日本の商取引は手形決済が主流なのに、海外メーカーや商社の取引はキャッシュベース。やがて日本国内も、現金取引の時代を迎えるだろう。ネットに始まった経営環境の変化は、取引慣行を含めて大きく変わってくるだろう。21世紀を迎えるに当たり経営者は、相当な構えで対応しないと新時代に乗り遅れてしまう。

「共存共栄で発展図る」

「南村正昭日精樹脂名古屋営業所長」

関係業界の減産や海外生産で、成形業界にもアゲンストの風が吹き、受注量の減少が続いております。悪環境の中で、賛助会員のメーカー・商社は、皆様方、成形業界とご相談し、共存共栄を図っていくことが、大きな課題だと思っています。そして日本の業界でなければ出来ない技術で、新しい製品づくりを進めていきたいと思っております。技術は継続させ、発展させることが何よりも大切なことで、今後も機器や資材、関係情報の提供を通じて貢献していきたい。

「年間1500のイベント」

「新家武彦県農林商工部商工局長」

21世紀まで残すところ1年。しかし、取り巻く環境は情報化、国際化、技術革新に社会の成熟化や高齢化が加わって目まぐるしく変化しております。こうした時代の転換期の中で、貴組合は新世紀へのプラスチック産業に向け、創意・工夫をこらし、技術革新や新たな販路の開拓に取り組んでおられます。

県においても、今世紀の成果を21世紀につなぎ、発展させていくための「岐阜県づくり」をスタートしていきます。このためウエルカム21として「ふるさとごふ回顧と展望」をテーマに5つの「シンボルイベント」をはじめ、全県で年間1,500を越える多彩なイベントを開催し全国いや世界へアピールしてまいります。

今後も皆様のお声をお聞きしながら、岐阜県に住んで良かったと感じていただける県政を進めてまいります。(渡辺浩章経営指導課長代読)

「国の基は製造業に…」

「辻正中小企業団体中央会会長」

大松理事長が話されたことは「国の基は製造業にあり」ということです。私もまったく同感で、業界をリードする経営者の哲学ともいえません。製造業の重要さを見失うと、日本の国はおかしくなることを、流通関係や情報通信産業に携わる一員としてつぐつぐ感じております。

さきに「ヤフー株1億円」というニュースが流れましたが、決してジャパンドリームではありません。情報通信や流通産業は、ものづくりする製造業界に向けて技術やノウハウを提供、貢献するのが正しい姿です。製造業の皆様方、良いものを造るために、生産性の高まる手段として情報技術を活用してもらいたいです。

松久庸安氏を招いて講演会を開催

必要と感じたらすぐ着手せよ

テーマ「総合収益改善活動への挑戦」

工業組合は新年互礼会の席上、松久経営&技術相談所長の松久庸安氏を招いて講演会を開催した。講演のテーマは『総合収益改善活動への挑戦』で、製造業の大きな隘路「収益改善」には「新製品開発や新規事業への進出が不可欠である」と、ヒット商品「写ルンです」の開発エピソードを交えながら強調していた。

松久氏は岐阜市の出身で、東京工業大学卒後昭和32年、富士写真フィルム(株)に入社し、平成8年まで商品開発、品質管理、生産性の向上に携わってこられた。現在は、40年間にわたる貴重な体験を生かし、岐阜県の技術アドバイザーとして経営及び技術指導を展開しておられる。次は講演の要旨である。

継続し効率よく最大収益上げる

◇…経営者の誰もが苦心するところは「いかにして継続的に効率よく、最大の収益を上げるか」にあるといえる。ここで「なぜ収益の改善に取り組みねばならないか」について考えてみると。当たり前の事かも知れませんが人々には「良いものを安く買いたい」という願望があるからだ。

とくにバブル崩壊以後、供給能力の過剰、情報化の進展、顧客ニーズの多様化などから商品の他品種少量・ショートライフ化が急速に進み、ついには販売価格の急激な低下が日常茶飯事化してきた。この傾向は情報化時代が本格化する21世紀には、ますます顕著になってくると思う。

改善に4つの手段と5つの行動

◇…企業が利益を上げ難い状態は、なお、今後も続くだろう。それなのに企業は会社の

仕組みとして、利益を上げなければ生きてはいけない。この状態から抜け出し、必要な利益を得るには、やはり企業活動のやり方を見直す必要がある。

収益の改善を継続的に効率よく進めていく考え方に、4つの手段と5つの行動がある。4つの手段とは①かなり困難かもしれないが売上数量のアップ②非常に困難かもしれないが販売単価のアップ③実現可能なコストダウン④直ぐには困難かもしれないが、高付加価値商品の商品化を上げることができる。

5つの行動とは①顧客志向②トップダウンとボトムアップの整合化③全体をにらんだうえの重点化④迅速化⑤徹底化がある。

思い付きでは効果は上がらない

◇…考えられる収益改善活動の対象はどこにあるのだろうか。売上高の維持・向上の面では、現市場での売上増やシェアアップ、関連市場への進出、新技術・新用途開発、新技



講演する松久庸安さん

「売れる商品企画」をめざすのは当然のことであるが、その際には「高機能・低コスト・トラブルレス」の商品開発を常に心がけることである。

コストダウンは、一般的な手法として「QC七つ道具」「新QC七つ道具」を使い企業

術・新市場開発などがある。

コストダウンの面では、品質故障の削減、生産性向上、原材料のコストダウン、生産面のムダ排除、販売費の徹底的なムダの排除、アウトソーシングの徹底、開発テーマの厳選、開発期間の短縮、無故障・低コストなどを課題にあげることができる。

こうした課題は、思いつくものからむやみに取り組んでも大きな効果は得られない。最大の収益を効率よく継続的にあげていくには緊急課題、効果の大きい課題、重要度のある課題、実施の容易な課題、というように時系列に選び出し、活動計画を作り、計画に沿って進めることが大切である。

高機能・低コスト・トラブルレス

◇…改善活動を進めるに当たって第1ステップは、重点事業&重点課題の決定である。経営・管理層への聞き込み、資料による経営分析、自社の強みや弱みの分析、外部環境の分析、社外の急成長・高収益事業の調査などを総合的に検討する。

第2ステップでは、今後の売上高や営業利益を推定し、販売方針を決めていく。過去3～5年間と今後3～5年間（予想）の売上数量や営業利益の推移表を作る。商品開発には

の経験や技術を引き出し、これを整合化することにより目標を達成できることが多い。コストダウンが進んでいる企業の場合は、管理技術の手法として「VE・IE・QC」などの専門技術を十分に活用することにより、目標を達成できることが多い。

品質トラブルが最重要課題の場合は、まず改善に必要な品質トラブル項目をリストアップする。コストダウン効果の大きな項目ごとに、改善方法の立案と効果を試算し、改善につとめていく。

生産性が最重要課題の場合は、まず、設備停止のロス時間やロス金額の大きなものをリストアップし、少ない投資でスピードアップ可能な項目が無いかを調べる。

技法・技術は短時日に出来ない

◇…企業は生き続け、売上と利益を増やし続けねばならない。その方策は「競合他社より良い商品を安いコストで作る続ける」ことである。継続的に良い商品を安く作り続けるためには、それを「可能とするシステムメタ的な技法（技術と方法論）を作り、その技法を高め続ける必要」がある。

この様な技法・技術は短時日には出来ない必要と感じたらすぐ着手することである。

出荷額3,222億余円を記録

平成10年のプラスチック生産額

平成4年のピークへあと一息

岐阜県がまとめた『平成10年工業統計』によると、プラスチック製品を製造する事業所数は902事業所、その従業員数は1万3,361万人、年間の製造品出荷額は3,222億7,697万円を記録した。

長引く不況で県産業の製造品出荷額は、22産業中15産業も減少したが、プラスチック製造業は堅実に増加して3千億円台を維持、平成4年のピークへあと一息に迫るなど、県の主力産業として確固たる成長を遂げている。

法人対個人の比率は 逆転し法人が上回る

まとまった平成10年の工業統計調査は最新の内容で、前年調査の平成9年の実績と比較すると。

《事業所》平成10年末のプラスチック製品製造事業所は、19事業所増の902事業所。

組織別にみると、会社法人が17増の453事業所、個人事業所が2増の449事業所であった。数年前まで法人と個人の比率は、個人が圧倒的に多かったが、今回調査では逆転、若干ながら法人事業所が個人事業所を上回った。

一方、県内の製造業を営む事業所は2万2,480事業所。前年に比べ392事業所、1.8%増えている。増加理由について県は「平成10年は全数調査年で、従来にも増して調査対象の把握及び産業分類の精査に努めた結果」としている。

産業別構成比を見ると、衣服・その他の繊維

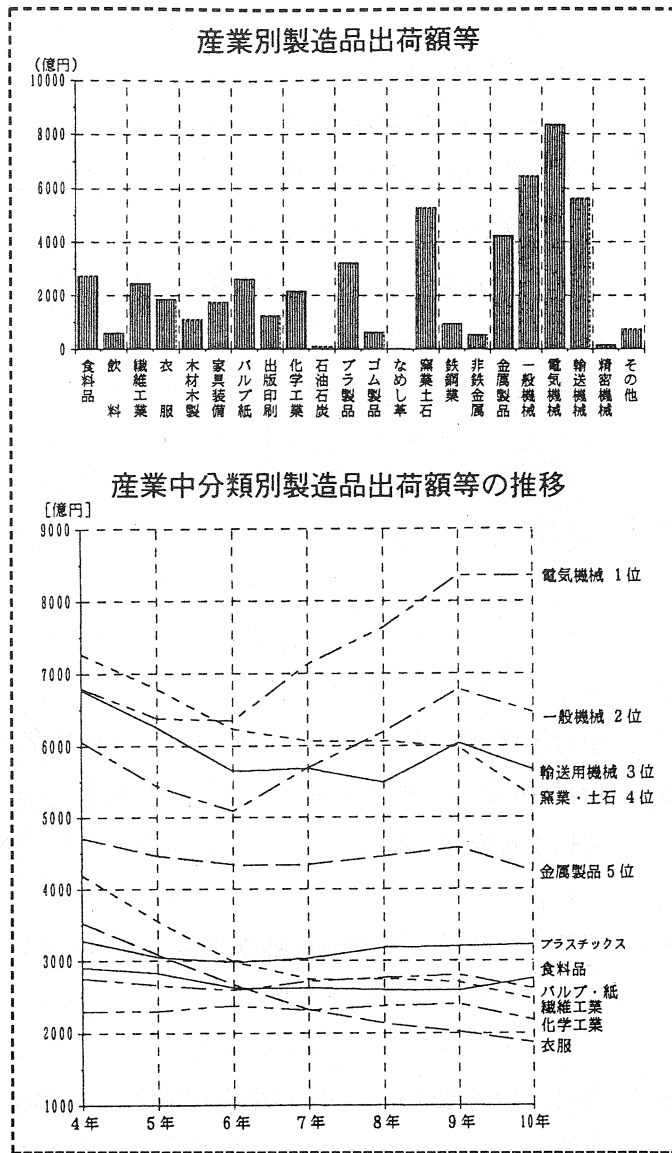
岐阜県プラスチック業界の規模

(平成10年工業統計調査から)

- ◎事業所数=902事業所
(会社法人453、個人449)
- ◎従業者数=13,361人
(男7,777人、女4,904人)
(個人事業主と家族680人)
- ◎製造品出荷額=3,222億7,697万円
(全県出荷額のウエートは6.1%)
(県内産業別の順位では第6位)
(1人当たり労働生産性は2,412万円、県平均より296万円高)
- ◎付加価値額=1,303億4,993万円
(1人当たり付加価値額975万円)
(県産業平均付加価値額841万円)

製品が18.4%、窯業・土石製品が14.3%、金属製品が11.6%と、やはり地場産業が大きな割合を占めている。プラスチック製造業の産業別事業所数の順位は、第9位であった。

また、県内事業所を従業者の規模別にみると従業者19人以下の小規模事業所は89.4%、プラ



べ3,460人減少(1.4%減)し、7年連続の減少となった。産業別にみると、減少したのは窯業・土石製品2,299人減、次いで衣服・その他の繊維製品1,062人減、繊維工業804人減など、11産業にのぼっている。バブル後に続く不況や構造変化によるものとみられる。

増加した産業は、食料品1,208人、電気機械器具は935人など11産業であった。

減少の動きを規模別にみると、中規模事業所(従業者20~299人)で2,525人の減少、大規模事業所(従業者300人以上)で1,845人も減少、リストラなどによる合理化が大幅に進んだことを裏付けている。

構成比6.1%、順位は6位

《製造品出荷額》プラスチック業界の製造品出荷額は3,222億7,697万円、前年に比べ0.8%伸ばし、これまでのピーク平成4年(3,271億円)へあと一息に迫った。

県内各産業がこの不況で軒並み減少したのにもかかわらず、プラスチック業界は堅実な成長を遂げた。県全体の構成比も、前年の5.7%から6.1%へと膨らんだ。

また、産業別の順位は①電気機械器具②一般機械器具③輸送用機械器具④窯業・土石製品製造⑤金属製品⑥プラスチック製品⑦食料品製造

プラスチック製造業の場合は84.1%(3人以下35.3%、4~9人38.4%、10~19人10.1%)と、小規模事業所のウエートは小さかった。

プラ製造の従業者1万3,361人

《従業者》プラスチック製造業の事業所に働く総従業者数は1万3,361人で、前年より1.0%の増加であった。増加理由は事業所の増加と見られる。

常用従業員数は1万2,678人(男7,777人、女4,904人) 個人事業主及び家族従業員数は680人(男433人、女247人)であった。

県全体の従業員数は、25万568人で、前年に比

本県製造業の推移(全事業所)

区分	事業所数		従業者数		製造品出荷額等		付加価値額	
	対前年増減率	人	対前年増減率	人	対前年増減率	対前年増減率	対前年増減率	
年	%		%		百万円	%	百万円	%
6 2	△2.3	279,326	△0.6	4,406,502	0.9	1,773,718	7.2	
6 3	△1.7	281,449	0.8	4,780,026	8.5	1,964,815	10.8	
元	△0.9	284,267	1.0	5,269,276	10.2	2,106,710	7.2	
2	△1.2	287,677	1.2	5,756,168	9.2	2,300,274	9.2	
3	△1.0	291,125	1.2	6,067,478	5.4	2,410,653	4.8	
4	△1.2	288,225	△1.0	5,920,039	△2.4	2,367,917	△1.8	
5	△4.1	277,400	△3.8	5,508,173	△7.0	2,221,891	△6.2	
6	△4.3	266,963	△3.8	5,195,058	△5.7	2,100,584	△5.5	
7	△3.1	260,292	△2.5	5,273,902	1.5	2,185,396	4.0	
8	△2.3	258,281	△0.8	5,399,140	2.4	2,229,834	2.0	
9	△3.1	254,028	△1.6	5,588,762	3.5	2,229,082	0.0	
10	1.8	250,568	△1.4	5,301,520	△5.1	2,107,141	△5.5	

⑧パルプ・紙・紙加工品⑨繊維工業⑩化学工業となる。プラスチック産業は6位、7大産業の中で着実な成長ぶりを発揮している。

一方、海外生産が進んだ縫製加工や撤退が進んだ繊維産業は大きく後退し、前年の7位から9位となり、県内産業の変化が表れた。

全県下の出荷額は4年ぶりに下る

この結果、平成10年における全県の製造品出荷額は5兆3,015億円で前年に比べ2,872億円(マイナス5.1%)減少となった。平成6年から徐々に盛り返してきた全県の出荷額は、景気後退に直面して4年ぶりに下げた。

産業別にみると、減少したのは窯業・土石製品693億円、輸送用機械器具375億円、金属製品336億円、一般機械器具316億円などと、製造業22産業中15産業までが後退した。

増加したのは食料品171億円、飲料105億円をはじめプラスチック、ゴム製品、石油製品、精密機械器具など7産業であった。

また、製造品出荷額で減少した地域は岐阜地域1,226億円、大垣地域658億円など8地域。増加したのは飛騨地域52億円、揖斐地域42億円の2地域に過ぎなかった。

付加価値生産性は975万円へ上昇

《付加価値額と生産性》プラスチック製造の

生産加工能力を示す付加価値額(製造品出荷額から加工賃収入額と修理工賃収入額を差し引いた額)は、1,303億4,993万円で、前年に比べ2.4%に当たる30億5,000万円増加した。この結果県内順位は前年の7位から6位へと上げた。

県内製造業に占める構成比も、前年の5.7%から6.2%へと伸ばした。

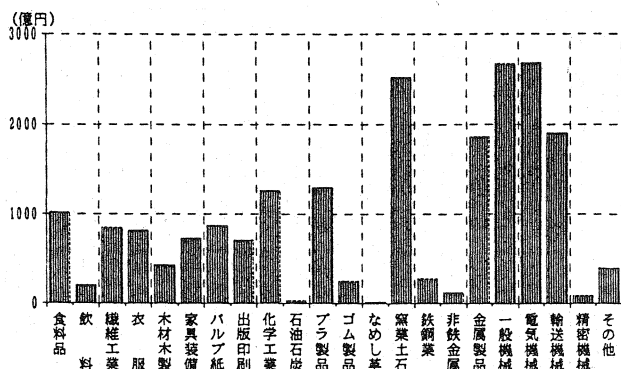
また、プラスチック製造の労働生産性(従業員1人当たり製造品出荷額)は2,412万円で、県平均2,116万円を上回った。

さらに付加価値生産性(従業者1人当たり付加価値額)は975万円で、これも県平均841万円をかなり上回った。付加価値生産性を規模別にみると、大規模事業所が1,357万円(125万円減)中規模事業所936万円(19万円減)小規模事業所は507万円(10万円減)といずれも減少、とくに大規模では額が大きいくだけ減少額もめだつた。

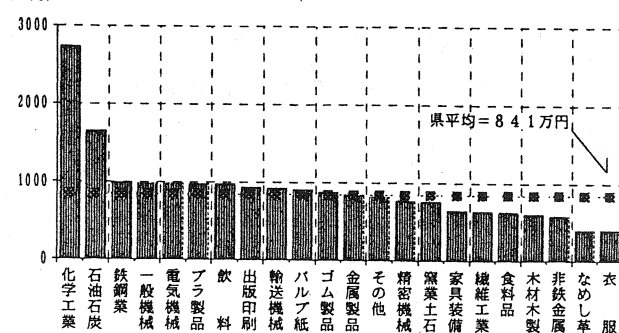
平成10年の県全体の付加価値額は2兆1,071億円で、前年に比べ1,219億円(マイナス5.5%)の減少となった。産業別には窯業・土石、金属製品、輸送機械器具など14産業が減少し、食料品、ゴム製品、プラスチック製品など8産業が増加した。

付加価値額が前年に比べて減少した地域は、岐阜地域572億円など7地域、増加したのは可茂地域63億円、揖斐地域38億円となっている。

産業別付加価値額



産業中分類別付加価値生産性の順位



互礼会の席上で検定合格者を励ます

「平成11年度前期と平成10年度後期の合格者35人」

工業組合は新年互礼会の席上で『技能検定合格証書伝達式』を行い、技能検定合格者の前途を祝った。

伝達の対象は平成11年に行なわれた検定試験に合格した35人。その内訳は、11年度前期の「射出成形作業」で1級7人、2級21人、また、10年度後期の「プラスチック成形



組合役員を囲む技能検定合格者一同

用金型」で1級2人、2級3人、さらに「ブロー成形作業」の2級2人。なお、平成11年後期の「プラスチック成形用金型」と「ブロー成形作業」は、現在、検定試験を実施中である。

〈射出成形作業・1級合格者〉

鐘ヶ江正知 (ムトー精工(株))
須田 俊男 (ムトー精工(株))
伊藤 直紀 (ムトー精工(株))
高橋 俊雄 (岐阜プラスチック工業(株))
熊崎 信夫 (岐阜プラスチック工業(株))
田中 康久 (岐阜プラスチック工業(株))
渡辺 正喜 ((有)アイゼン)

〈射出成形作業・2級合格者〉

関谷 太司 (岐阜プラスチック工業(株))
堀田 涉 (岐阜プラスチック工業(株))
馬場 浩 (岐阜プラスチック工業(株))
石黒 紀好 (岐阜プラスチック工業(株))
増田 正則 (岐阜プラスチック工業(株))
中村 直孝 (岐阜プラスチック工業(株))
蛸原 洋 (岐阜プラスチック工業(株))
大柿 勝亮 (岐阜プラスチック工業(株))
柴山 真一 (岐阜プラスチック工業(株))

外園 貢 (岐阜プラスチック工業(株))
大橋 恵寿 (ムトー精工(株))
越智 泰隆 (ムトー精工(株))
門谷 博人 (ムトー精工(株))
田中 誠 (ムトー精工(株))
三宅 覚 (ムトー精工(株))
森 朱門 (ムトー精工(株))
梅本 恭司 (ムトー精工(株))
鬼頭 雅達 (ムトー精工(株))
高木 洋一 ((有)アイゼン)
後藤 義広 ((有)アイゼン)
大塚 祝生 (シーシーアイ(株))

〈プラスチック成形用金型・1級合格者〉

奥村 隆之 (ムトー精工(株))
水野 光昭 (ムトー精工(株))

〈プラスチック成形用金型・2級合格者〉

大西 将春 (ムトー精工(株))
山口 正宏 (ムトー精工(株))
大久保勉希 (ムトー精工(株))

〈ブロー成形作業・2級合格者〉

宇留野 努 (コダマ樹脂工業(株))
南谷 重信 (コダマ樹脂工業(株))

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□新年度総会は5月25日に行います□

ミレニアムの新年互礼会に、ご出席いただきありがとうございました。好天に恵まれ、多数のご来賓、賛助会員を迎えての互礼会となり、大いに交流と親睦を深めることができました。これまで混沌としていた景気も「緩やかながら上昇傾向」の言葉も聞かれ、久々の明るい新年初行事となりました。

次の行事は平成12年度の『第32回通常総会』で、5月25日(木)の午後に、岐阜市内にあるホテルグランヴェール岐山で開催を予定しております。開催のご案内は改めて行ないますが、多数のご出席をお願いいたします。

□ISOの研修会にご参加ください□

先に『国際標準規格ISOシリーズ』の研修会開催案内を送付しました。ISOシリーズへの取り組みは、今後の企業経営に欠かすことのできないテーマで、今回はISO9000シリーズからISO14000シリーズまで幅広い解説に事例発表を交えて開催します。

開催日は2月25日(金)と3月3日(金)でいずれも午後1時30分から岐阜産業会館5階会議室で行います。講師は岐阜県公衆衛生検査センター・

環境マネジメント審査部長の堀部信好氏で、事例発表はムトー精工、シーシーアイ、岐阜プラスチック工業の3社4人です。毎回、研修参加人員の定員は15人です。

□リサイクルと資源化の技術相談会□

2月24日午後2時から岐阜県製品技術研究所の1階会議室で『技術融合化集団指導』が行われます。内容はプラスチック処理促進協会の横田克巳広報部長から「プラスチックリサイクルの現状」について話を聞いた後「リサイクル・資源化に対する技術相談会」が開かれます。

近年、地球環境への関心が高まり廃棄物対策は大きな社会問題となり、平成12年4月からは「容器包装リサイクル法」が完全実施となります。一方、原料樹脂の値上がりもあり、環境と経済両面から対応が迫られております。この機会に参加し、事業展開に役立ててください。

岐阜県のプラスチック 2000 151号

平成12年1月31日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 高坂 貞夫

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

祝・2000年

平成12年 1月

岐阜県プラスチック工業組合



役員一同

リスのプラスチック

岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松 利幸

本社 岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
〒500-8833 ☎(058) 265-2233(代)

生産本部 各務原市前渡東町4丁目222番地
〒504-0922 ☎(0583) 86-9311(代)



コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉 俊一

本社 岐阜県安八郡神戸町末守377の1
電話<0584>27-4141

支店 東京、大阪

営業所 本社、横井、福岡、仙台

工場 本社、横井、熊本、栃木、池田

ポリエチレンチューブ

農業用ポリエチレンフィルム



株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中 〒501-6004
TEL (058) 246-1313 番(代)
FAX (058) 247-2411 番

名古屋営業所 名古屋市西區城西5丁目5番4号 〒452-0841
TEL (052) 521-9296 番(代)
FAX (052) 532-1664 番

浜松事務所 浜松市入野町6056 〒432-8061
TEL (053) 447-2511 番(代)
FAX (053) 447-4248 番



業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計製作

大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役社長 日比 勝次

本社 岐阜県大垣市大島町2丁目394番地
TEL <0584>81-1347(代)

営業所 名古屋市西區城西3-15-33
TEL <052>932-3945(代)

アテカ工業株式会社

代表取締役社長 下野 利昭

■本社・工場 岐阜県関市下有知5601番地の1
TEL(0575)24-2424 (代表)
〒501-3217 FAX(0575)24-0567

ナイロン・ポリエステル・PP

樹脂・再生加工製造

高安株式会社 協力工場



加茂企業株式会社

代表取締役社長 万江 文雄

〒505-0016 美濃加茂市牧野1878

TEL(0574)26-1335

FAX(0574)25-8073

岐阜産研工業(株)

代表取締役 林 貢一郎

樹脂事業部

射出成型

ギフト事業部

ギフト商品卸販売

本社・工場

〒501-0555 岐阜県揖斐郡大野町

大字公郷六ノ坪1403番地

TEL(0585)35-2511

FAX(0585)35-2327

岐阜技研ポリマー
株式会社

代表取締役 篠田 哲

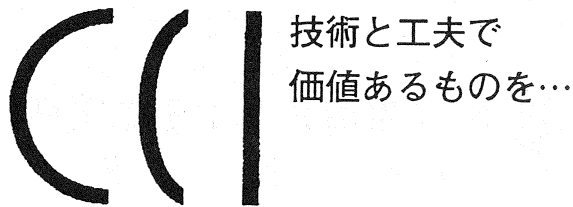
岐阜市岩地 3-7-15
TEL <058> 246-2541
FAX <058> 246-2081

 三光合成株式会社

岐阜工場

工場長 堺 茂 外

本社 富山県西砺波郡福光町遊部800
TEL 0763-52-2135
岐阜県安八郡安八町森部2454-1 ☎503-0114
TEL 0584-64-3388
FAX 0584-64-4936



技術と工夫で
価値あるものを…

シーシーアイ株式会社

代表取締役社長 岡部 修二


岐阜県関市新迫間12
TEL(0575)24-4111 FAX(0575)24-4199

(有) 清水樹脂

代表取締役 清水 昭市

美濃市乙狩10-2
TEL 0575-37-2114
FAX 0575-37-2586

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器

 天龍工業株式会社

代表取締役社長 福西 紀雄

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1番地
TEL <0583> 82-4111(代)



株式会社 ニッセキ

代表取締役 石原 良美

本社・工場
☎503-0641 海津郡海津町内記194
TEL(0584)53-0238
FAX(0584)53-0359

Hachiman-kasei co.,ltd.



八幡化成株式会社 way-be®

代表取締役 高垣 美代子

〒501-4204 岐阜県郡上郡八幡町旭182番地
TEL(0575)67-1175(代) FAX(0575)65-5150

各種プラスチックシート真空成型加工

 パール化成株式会社
PEARL CHEMICAL PRODUCTS CO.,LTD.

代表取締役 杉山 元彦

本社工場 ☎501-0473 岐阜県本巣郡真正町温井243-3
TEL (0583)24-9155(代) FAX (0583)24-6221
管理本部 ☎500-8256 岐阜市八坂町40番地の1
岐阜工場 TEL (058)271-0861(代) FAX (058)275-0970



株式会社 **武藤化成工業所**

代表取締役 **武藤 幸平**

岐阜県武儀郡武芸川町跡部井口781 〒501-2605
TEL <0575> 46-3711 FAX <0575> 46-2285



ムトー精工株式会社

代表取締役 **山口 功**

本社工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鵜沼川崎町1-60-1
TEL (0583) 71-1100(代) FAX (0583) 82-4365
岐阜工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鵜沼川崎町1-93
TEL (0583) 83-8311(代) FAX (0583) 83-1516
筑波工場 〒300-0315 茨城県稲敷郡阿見町香澄の里13-2
TEL (0298) 89-0800(代) FAX (0298) 89-0805



プラスチック原料販売
再生材料・着色・委託加工

有限会社 **久世樹脂工材**

代表取締役 **久世 幸博**

〒503-0008 大垣市楽田町3丁目29番地
TEL (0584) 81-6138 (代)
81-5785 夜間
FAX (0584) 81-2260



各種プラスチック製品製造加工
株式会社

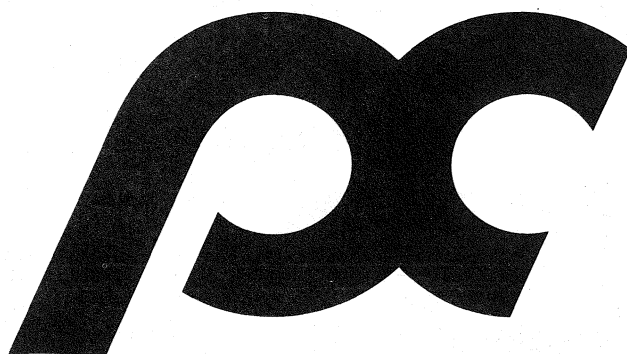
東海化成工業所

代表取締役 **宇野 隆**

岐阜県山県郡高富町大桑4370
TEL (0581) 27-2111
FAX (0581) 27-2915

創世ポリケム・パワー

質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニー



三菱化学と東燃化学との創造的な出会いから生まれたポリケムは、平成8年9月、質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニーをめざしスタートしました。ポリオレフィン樹脂のスペシャリストとして、国内では最大、世界でも有効の規模を誇るポリケムは、四日市・川崎・水島の3技術センターのそれぞれの特長を活かし、多種・多様で高品質のポリケム・バリューをお届けしてまいります。

技術と信頼の証 **ノバテック**
NOVATEC

NOVAは「新星」。
ポリケムは、常に先進の技術革新に取り組み、最新・最良の品質のポリオレフィン樹脂「ノバテック (NOVATEC)」をお届けします。

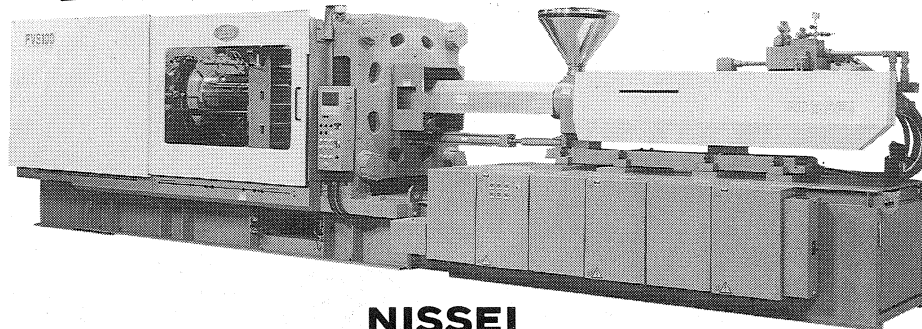
高密度ポリエチレン——— **ノバテックHD**
低密度ポリエチレン——— **ノバテックLD**
直鎖状低密度ポリエチレン——— **ノバテックLL**
直鎖状低密度ポリエチレン——— **ノバテックC6**
エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂——— **ノバテックEVA**
ポリプロピレン——— **ノバテックPP**

日本ポリケム株式会社 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル 〒100
TEL 03-3287-8010 FAX 03-3287-8040

時代を創る 時代に答える

私たちNISSEIは、射出成形機の専門メーカーとして、プラスチック成形技術の開発に努めてきました。成形機を中心に金型・生産システムなど、技術の幅を広げ、国内トップメーカーとして業界をリードしています。プラスチックの活用はますます裾野を広げる中、プラスチック応用技術を通して、活力ある産業社会、心豊かな生活文化の創造に貢献しています。「人と暮らしに役立つ、新しいモノづくり」これが私たちの恒久のテーマです。

新たな発想で生まれた高性能・低価格大型機
FVシリーズ (FV9000, 9100, 9200, 9400)



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

■名古屋営業所／愛知県小牧市外堀2-167 ☎ (0568) 75-9555(代)

■岡崎出張所／愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎ (0564) 52-1430 ■三重出張所／三重県津市神戸横田203-4 ☎ (059) 224-0716

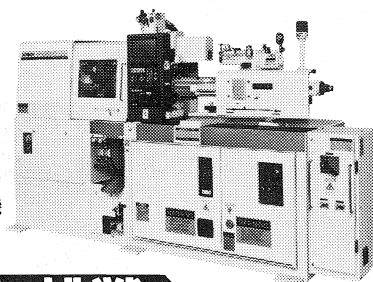
■本社・工場・研究開発センター／長野県坂城町南条2110 ☎ (0268) 82-3000(大代表)

■東京事務所 ■テクニカルセンター／本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪 ■営業所/全国11カ所/出張所/全国19カ所 ■海外サービスステーション/28カ所

● <http://www.nisseijushi.co.jp>

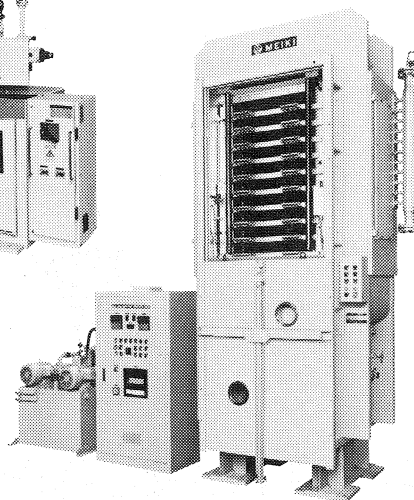
MEIKI

DVD専用機

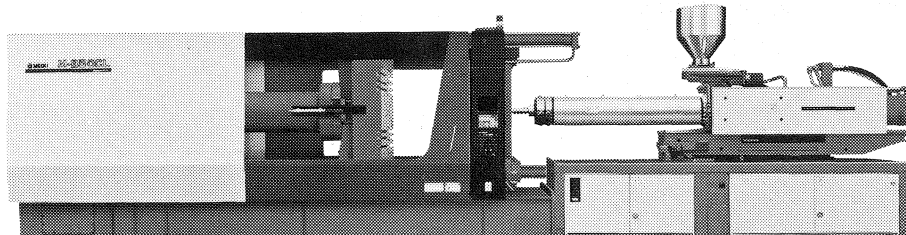


ハイテクノロジーに挑戦

プラスチック、光ディスク (DVD) 射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社 **名機製作所**

本社・工場 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎ <0562>48-2111(代)
中部支店 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎ <0562>47-2391(代)
岐阜出張所 〒501-61 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎ <058>247-2674

化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

三菱化学

▲三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 〒100(三菱ビルディング) Telephone:03-3283-6274(ダイヤルイン)

ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

P.V.C.

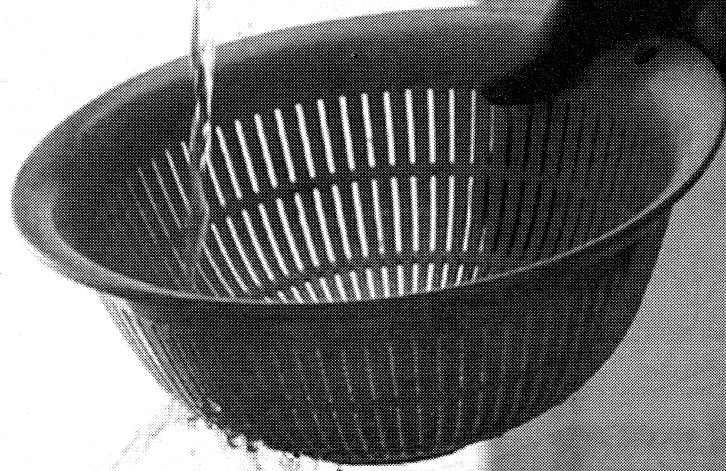
信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎(052)581-0651

くらしのこだわり…

HOME &
HOME

-RISU BASIC-

リス株式会社
croissant®



より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リスは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

キッチンウエア 3つの Point

ポイント
1

汚れ防止加工

台所の汚れが付きにくく落ちやすい
特殊加工の素材を使用しています

ポイント
2

洗い易いカタチ

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント
3

抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無機系抗菌剤だから安心

リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目25番地
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社
●リス株式会社
●リス興業株式会社